

「最近の機械貿易動向(5月)～機械輸出額7ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2019.7.18

2019年5月の機械輸出額は3兆6,899億円、対前年同月比7.1%減と、7ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①北米向け以外の5地域向けで減少したこと、②21業種中船舶を除いた20業種が減少したことなどによる。為替・営業日要因が9.0%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.2%増となった。2019年6月の為替・営業日要因は5.5%の減少寄与要因となっているが、7月18日発表の貿易統計速報による簡易計算では、6月の機械輸出は8.1%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:5兆8,353億円(前年同月比[以下同じ]7.8%減、6ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:6兆8,036億円(1.5%減、3ヶ月ぶり減少)
- ③ 貿易収支:9,683億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆6,899億円(7.1%減、7ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:2.2%増(7ヶ月ぶり増加)
- ② 機械輸入額:2兆2,394億円(4.1%増、3ヶ月連続増加)

(2) 為替・営業日動向

2019年5月に9.0%の減少要因、6月に5.5%の減少要因、7月に3.2%の増加要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 北米向け以外の5地域向けが前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:1.7%増、3ヶ月連続増加(図表4、5)
- ③ 中国向け:10.0%減、3ヶ月連続減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:17.2%減、5ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:5.1%減、2ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:17.5%減、16ヶ月連続減少(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:0.5%減、6ヶ月連続減少(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中船舶1業種のみ増加(39.4%増加)。

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 船舶(その他地域向け中心)が大きく増加
- ② 鉄道車両、通信機械部分品、産業用ロボット等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、9機種が増加
- ② そのうち5機種が二桁の増加

Ⅱ トピックス

1. 【台湾】ホンハイの業績が悪化。米中貿易摩擦を受け生産拠点シフトを加速

電子機器受託製造サービスで世界最大手の台湾・ホンハイ（鴻海）精密工業は、2019年第1四半期（1-3月期）において、純利益が前年同期比18%減の198億台湾（NT）ドルと低迷した。売上高は3%増の1兆543億台湾ドルだった。主要顧客である米アップルの不振が響いた。さらに6月以降は、米トランプ政権によるファーウェイに対する規制の悪影響が広がるとの見方が出ている。すでに、鴻海はいくつかの生産ラインを停止したと報じられている。

ホンハイは米中貿易摩擦を受けて、サプライチェーンの見直しを加速させている。同社は、これまで中国を主な生産拠点としてきたが、2020年末までに米国で電子部品、液晶パネルなどの量産を開始する。投資総額は14億～15億ドルになる。また、子会社のシャープもノートパソコンなどについて、中国から生産を移すことを検討する。

アップルは iPhone などの生産体制を見直し、中国以外に移転することを促進する構えである。アップルの主要サプライヤーである台湾のペガトロン、クワンタ、コンパルなどは東南アジアへの生産移管を進める。

2. 【トルコ】経済が大幅に低迷。イスタンブール市長選敗北で大統領の求心力が低下

トルコの 2019 年第 1 四半期（1-3 月期）の経済成長率は前年同期比 2.6%減だった。二期連続のマイナス成長となった（前期比では 1.3%増でリセッション入りを免れた）。個人消費や住宅投資など経済のけん引役が落ち込んだ（個人消費はマイナス 4.7%、建設業はマイナス 10.9%）。通貨リラの急落でインフレ率が上昇し、国民生活に大きな打撃となった（米国との対立により、2018 年夏以降、大幅なリラ安が続いている）。インフレは若干緩和したもの、トルコ中央銀行は政策金利を 24%で据え置いている。外貨建て債務の返済が困難となり、政府は大規模なインフラ計画を凍結している。

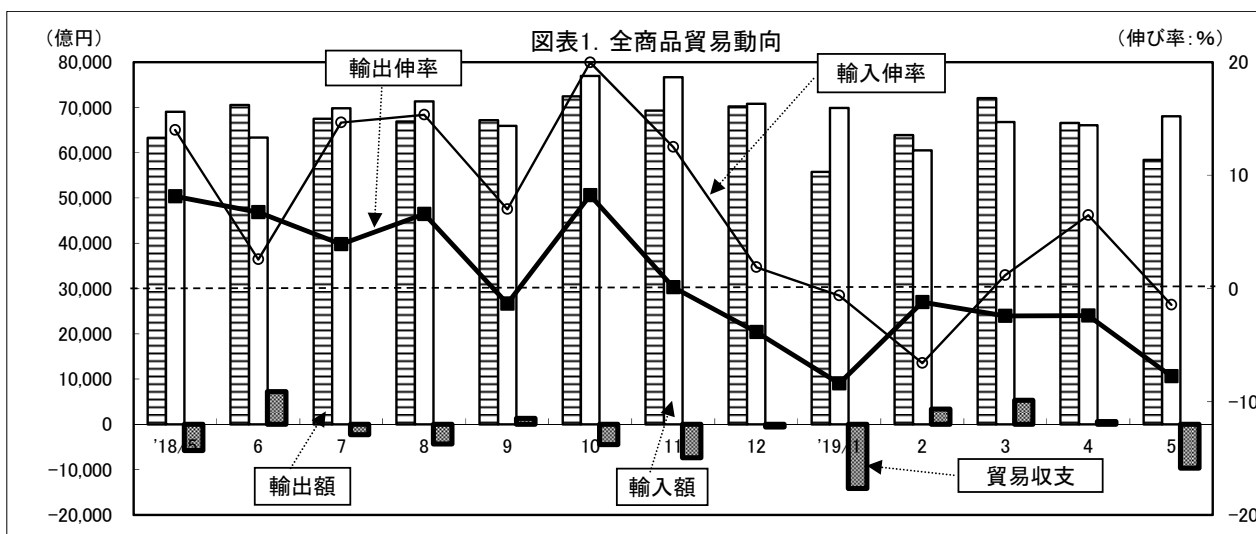
自動車販売も低迷している。2019 年 5 月の新車販売台数は、前年同月比 54.7%減の 3 万 3,980 台となった。1-5 月の販売累計でも前年比 50%減となっている。

エルドアン大統領の強権的な政治運営に批判が集まるなか、イスタンブール市長選の再選挙が行われ、大統領派候補が大差で敗北した。今回の敗北でエルドアン大統領の求心力が、さらに低下する恐れもある。またミサイル問題で再度、対米関係が悪化する可能性もある。6 月に入り、ムーディーズが外貨準備高の急減からトルコの信用格付けを引き下げるなど、デフォルトリスクも高まっている。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は6ヶ月連続で減少、輸入は3ヶ月ぶりに減少～

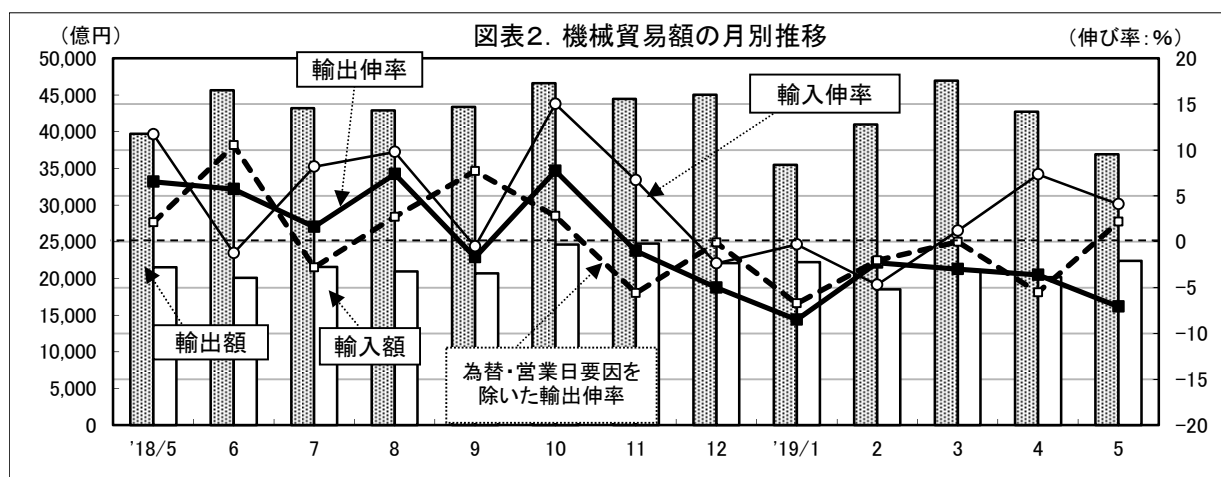
- 2019年5月の全商品輸出額は**5兆8,353億円**、前年同月比(以下同じ)**7.8%減**と6ヶ月連続で減少した(4月2.4%減)。これは、約23%を占める輸送用機器(1.2%増)が増加したものの、約20%を占める一般機械(13.1%減)をはじめ、約17%の電気機器(9.9%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(10.1%減)等が減少したためである。
- 輸入額は**6兆8,036億円**、**1.5%減**と3ヶ月ぶりに減少した(4月6.5%増)。これは、全輸入額の約15%を占める電気機器(3.3%増)等が増加したものの、約21%を占める原粗油等鉱物性燃料(1.6%減)や、医薬品等化学製品(10.5%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約9,683億円と4ヶ月ぶりの赤字(4月は568億円の黒字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は7ヶ月連続減少、輸入は3ヶ月連続で増加～

- 全商品輸出額の約63%を占める5月の機械輸出額は**3兆6,899億円**、**7.1%減**と7ヶ月連続で減少し(4月3.6%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年5月)と比べると**81.9%**となって、前月に比べて9.0ポイント悪化した(4月90.9%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**2.2%増**であった。
- 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**2兆2,394億円**、**4.1%増**と3ヶ月連続で増加し(4月7.3%増)、リーマンショック前(2008年5月)の水準に比べ、46.1%増となっている。

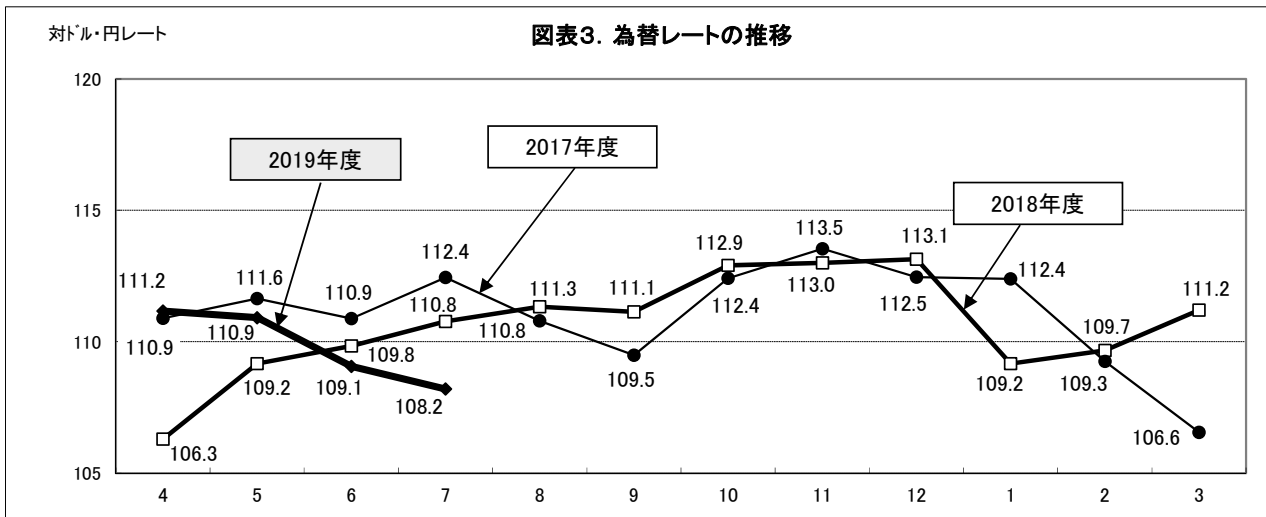


(2) 為替・営業日動向～5月は9.0%の減少要因、6月は5.5%の減少要因～

1) 2019年5月は1ドル＝110.9円となり、前年に比べ1.6%の円安となった。また、対ユーロは124.6円と前年に対して5.3%の円高となり、合わせて約0.5%の為替増加要因となった。営業日は前年に比べて2日少ないため、約9.5%の減少要因となり、合計で約9.0%の減少要因となる。5月の輸出額は7.1%減であったことから、実質的伸び率は2.2%増と7ヶ月ぶりに前年同月比増加となった(4月5.5%減)。

2) 2019年6月は1ドル＝109.1円で前年比0.7%の円高、対ユーロは122.4円で前年比4.9%の円高となり、合わせて約0.7%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.8%の減少要因となり、合計で約5.5%の減少要因となる。

3) 2019年7月は、対ドルが7月17日17:00時点の108.2円とすれば、2.3%の円高、また、対ユーロは121.3円で5.8%の円高となり、合わせて約1.5%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日多いため、約4.8%の増加要因となり、合計で約3.2%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～北米向け以外の5地域向けが減少～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の26.0%を占める北米向けでは、航空機部品(1.6%減)が減少したものの、約48%を占める自動車(2.3%増)をはじめ、産業機械(7.7%増)、建設機械(13.1%増)等が増加し、1.7%増となった。②22.5%を占める中国向けでは、自動車(1.8%増)、電子デバイス(3.8%増)等が増加したものの、産業機械(20.6%減)、軽電気機械(8.0%増)、重電気機械(10.6%減)等が減少して10.0%減となり、③13.7%のASEAN・南アジア向けは、タイ(5.1%減)、シンガポール(27.0%減)、インド(13.0%減)等主要国がすべて赤字となり、業種でも、自動車(19.2%減)、産業機械(16.9%減)、電子デバイス(17.8%減)等が減少して17.2%減となった。④12.6%を占めるEU向けは、約36%を占める自動車(2.6%減)をはじめ、産業機械(13.6%減)、軽電気機械(8.0%減)等が減少して5.1%減となり、⑤9.1%を占める韓国・台湾向けは、自動車(11.1%増)、電子デバイス(1.5%増)等が増加したものの、産業機械(40.3%減)が大きく減少して17.5%減となった。⑥16.1%のその他地域向けでは、アフリカ(36.5%増)向け等が増加したものの、中近東(5.4%減)、大洋州(14.0%減)向け等が減少し、機種では、船舶(1.6倍)が大きく増加したものの、自動車(1.9%減)、産業機械(14.5%減)、建設機械(21.3%減)等が減少して0.5%減となった。

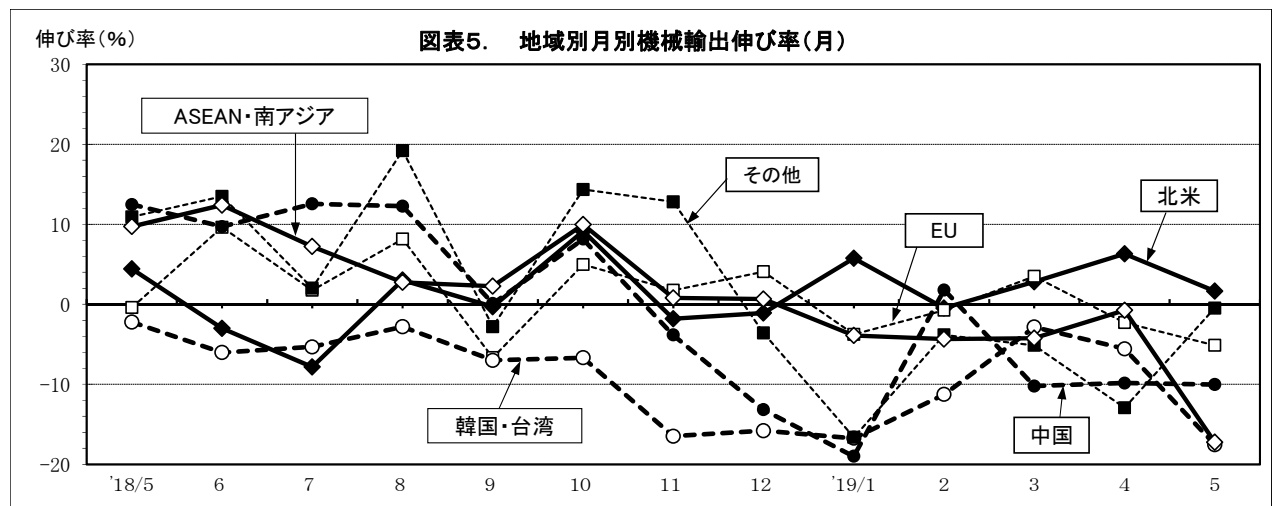
2) また、リーマンショック前の2008年5月の地域別輸出額と比較すると、中国、北米向けが90%台、ASEAN・南アジア向けが80%台、韓国・台湾向けが70%台、その他地域、EU向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2019/3			2019/4			2019/5			対08年 5月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	46,967	▲ 3.0	100.0	42,714	▲ 3.6	100.0	36,899	▲ 7.1	100.0	0.82
北米	11,777	2.8	25.1	11,734	6.3	27.5	9,605	1.7	26.0	0.95
中国	9,605	▲ 10.2	20.5	8,832	▲ 9.8	20.7	8,287	▲ 10.0	22.5	0.97
ASEAN・南アジア	7,038	▲ 4.2	15.0	6,434	▲ 0.7	15.1	5,041	▲ 17.2	13.7	0.85
EU	5,965	3.5	12.7	5,615	▲ 2.3	13.1	4,632	▲ 5.1	12.6	0.63
韓国・台湾	4,723	▲ 2.8	10.1	3,921	▲ 5.6	9.2	3,375	▲ 17.5	9.1	0.79
その他	7,859	▲ 5.1	16.7	6,178	▲ 12.9	14.5	5,959	▲ 0.5	16.1	0.67

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

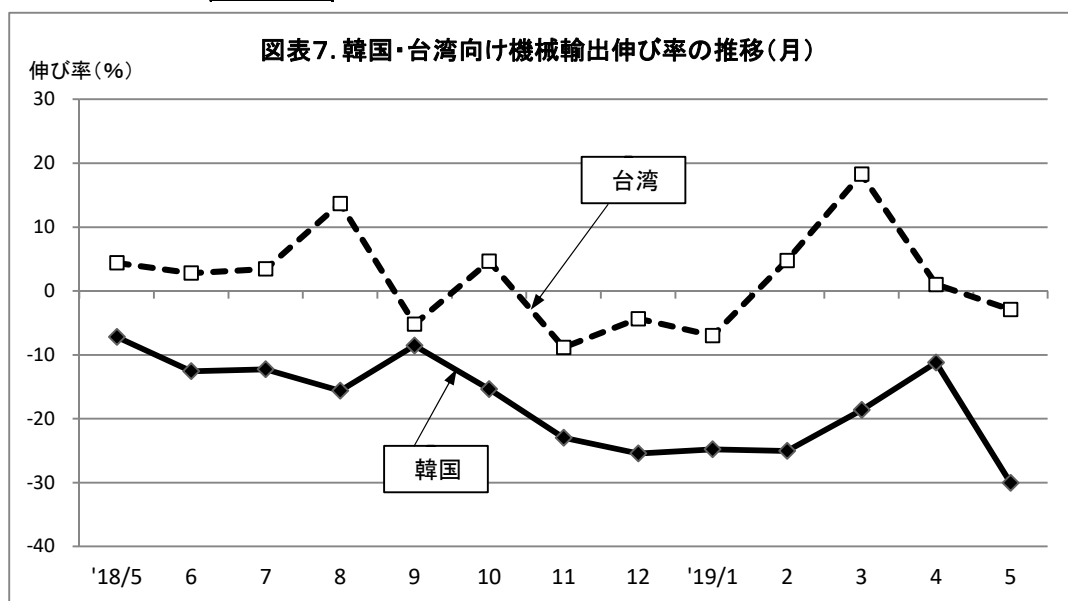


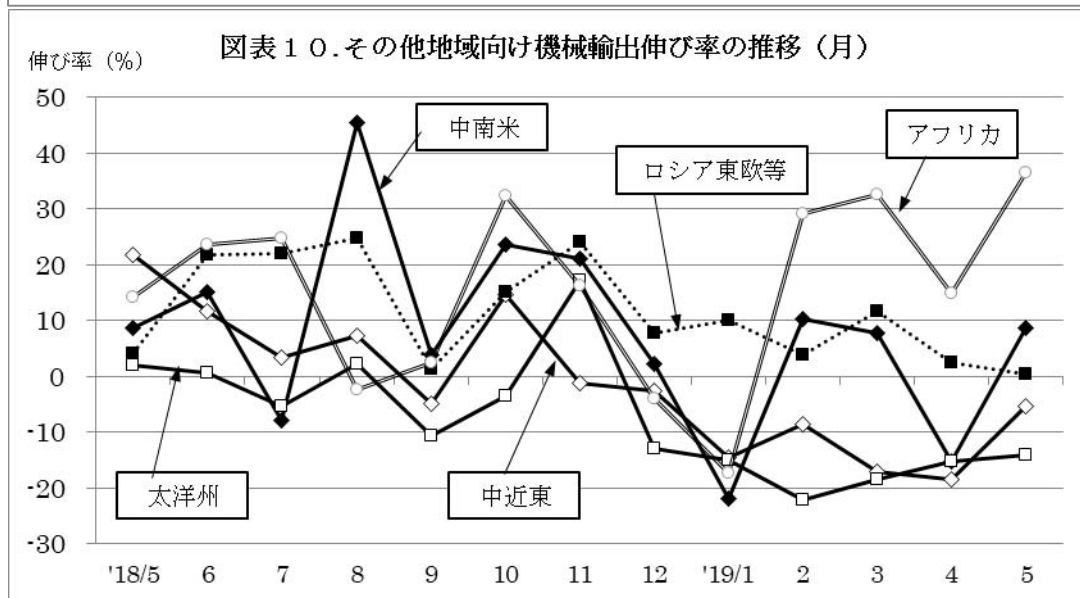
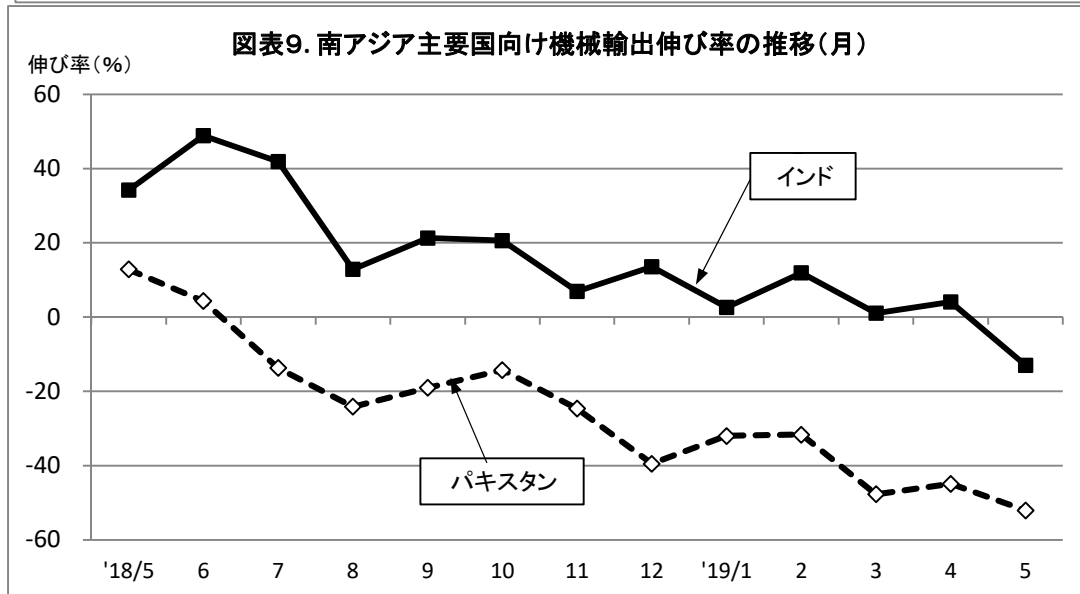
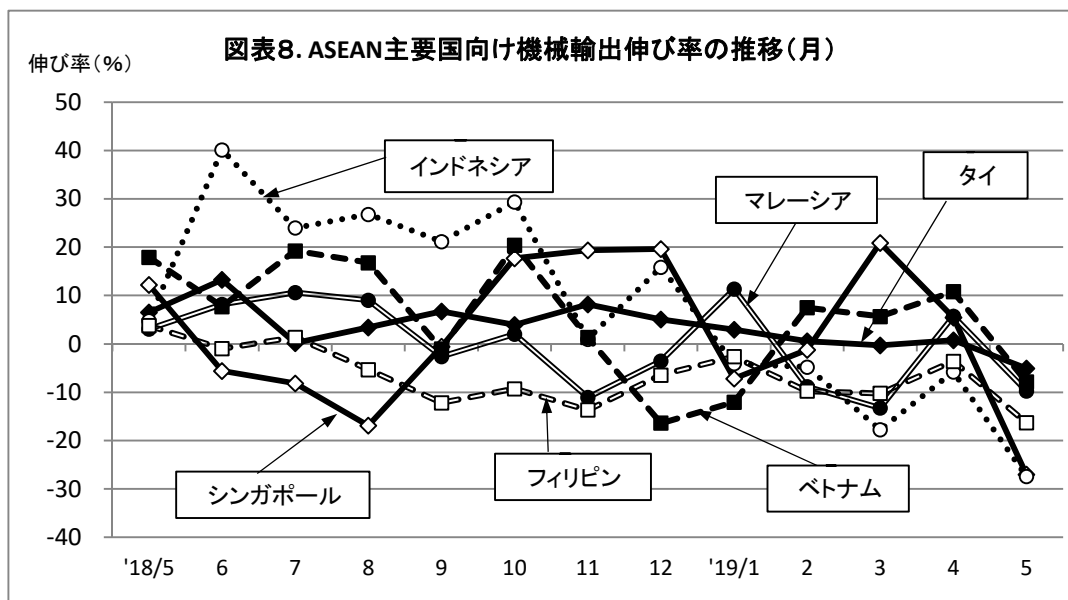
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国 名	2019/2		2019/3		2019/4		2019/5	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,707	▲ 25.0	2,264	▲ 18.6	1,976	▲ 11.2	1,544	▲ 30.0
台湾	2,049	4.8	2,459	18.3	1,945	1.0	1,830	▲ 2.9
ASEAN・南アジア								
タイ	1,590	0.6	1,779	▲ 0.3	1,585	0.8	1,406	▲ 5.1
シンガポール	902	▲ 1.2	1,363	20.9	1,054	5.4	732	▲ 27.0
インドネシア	781	▲ 4.8	820	▲ 17.8	919	▲ 5.8	498	▲ 27.4
マレーシア	619	▲ 8.8	695	▲ 13.3	712	5.7	571	▲ 9.7
フィリピン	572	▲ 9.8	627	▲ 10.2	635	▲ 3.6	547	▲ 16.3
ベトナム	639	7.5	773	5.7	708	10.8	653	▲ 7.9
インド	554	11.9	677	1.0	519	4.1	416	▲ 13.0
パキスタン	74	▲ 31.7	92	▲ 47.7	90	▲ 44.9	82	▲ 52.1
その他地域								
中南米	2,363	10.4	2,506	7.8	1,835	▲ 15.2	2,010	8.7
中近東	1,604	▲ 8.7	1,902	▲ 17.1	1,287	▲ 18.4	1,300	▲ 5.4
大洋州	1,053	▲ 22.1	1,356	▲ 18.5	1,306	▲ 15.2	1,015	▲ 14.0
ロシア東欧等	1,305	3.7	1,396	11.7	1,268	2.5	1,017	0.5
アフリカ	597	29.0	844	32.6	599	14.9	664	36.5

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21 業種中船舶のみが増加。～

- 1) 業種別では、船舶(39.4%増)のみが増加し、それ以外の 20 業種が減少した(4 月は 15 業種が減少)。機械全体でも 7.1%の減少となった。
- 2) リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、医療機械、軽機械、ベアリング、陸用内燃機関、船舶、鉄道車両の 7 業種となった(4 月は 8 業種)。他方、電子計算機、民生用電子機械が 30%台、通信機械が 40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位: 億円、%)

2019/3				2019/4				2019/5				対08/5 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	16,106	▲ 2.3	34.3	自動車	15,458	▲ 2.1	36.2	自動車	12,942	▲ 1.7	35.1	0.85
産業機械	8,862	▲ 7.6	18.9	産業機械	7,730	▲ 5.9	18.1	産業機械	6,390	▲ 18.2	17.3	0.88
電子デバイス	3,162	▲ 7.8	6.7	電子デバイス	3,186	▲ 5.5	7.5	電子デバイス	3,067	▲ 3.6	8.3	0.76
軽電気機械	2,543	▲ 4.7	5.4	軽電気機械	2,374	▲ 3.7	5.6	軽電気機械	2,088	▲ 8.5	5.7	0.90
船舶	2,425	45.5	5.2	重電気機械	2,054	▲ 6.3	4.8	重電気機械	1,772	▲ 11.1	4.8	0.86
重電気機械	2,284	▲ 3.0	4.9	軽機械	1,772	3.6	4.1	軽機械	1,498	▲ 7.7	4.1	1.14
軽機械	1,875	▲ 1.6	4.0	民生用電子機械	1,406	2.6	3.3	船舶	1,450	39.4	3.9	1.01
建設機械	1,584	4.6	3.4	建設機械	1,394	▲ 2.1	3.3	民生用電子機械	1,190	▲ 13.6	3.2	0.37
民生用電子機械	1,448	▲ 1.3	3.1	船舶	1,358	▲ 15.5	3.2	建設機械	1,159	▲ 4.5	3.1	0.75
光学機械	1,119	▲ 18.8	2.4	光学機械	1,101	▲ 6.7	2.6	光学機械	980	▲ 12.5	2.7	0.78
工作機械	956	▲ 18.7	2.0	航空機部品	801	27.2	1.9	工作機械	701	▲ 5.7	1.9	0.85
航空機部品	838	12.4	1.8	工作機械	723	▲ 12.9	1.7	航空機部品	673	▲ 4.1	1.8	1.95
医療機械	568	▲ 1.7	1.2	陸用内燃機関	466	5.1	1.1	陸用内燃機関	418	▲ 1.7	1.1	1.12
通信機械	514	▲ 14.0	1.1	通信機械	459	▲ 20.0	1.1	医療機械	408	▲ 5.9	1.1	1.15
陸用内燃機関	492	▲ 2.4	1.0	医療機械	453	4.8	1.1	通信機械	404	▲ 22.4	1.1	0.46
ベアリング	457	▲ 3.1	1.0	ベアリング	422	▲ 1.0	1.0	ベアリング	386	▲ 1.9	1.0	1.14
電子計算機	436	2.7	0.9	電子計算機	364	▲ 2.7	0.9	電子計算機	307	▲ 16.8	0.8	0.34
農業機械	224	▲ 5.2	0.5	農業機械	217	9.4	0.5	繊維機械	186	▲ 14.3	0.5	0.75
繊維機械	209	▲ 22.9	0.4	繊維機械	169	▲ 15.6	0.4	農業機械	186	▲ 6.1	0.5	0.92
産業車両	130	▲ 7.3	0.3	産業車両	111	▲ 14.1	0.3	産業車両	108	▲ 4.9	0.3	0.50
鉄道車両	86	▲ 39.9	0.2	鉄道車両	99	▲ 22.2	0.2	鉄道車両	80	▲ 51.1	0.2	1.00
21業種合計	46,320		98.6	21業種合計	42,116		98.6	21業種合計	36,392		98.6	0.82

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械: 半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品 ・電子計算機: パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械: 試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械: 白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械: その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械: 通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～船舶のみが増加、鉄道車両、通信機械部分品等が大幅減少～

- 1) 10%以上の伸び率を示したのは、その他地域(パナマ、バハマ、リベリア等)向け船舶(39.4%増)のみであった。
- 2) 一方、最も落ち込み幅が大きいのが、鉄道車両(51.1%減)、通信機械部分品(39.6%減)、産業用ロボット(31.7%減)、写真機の部分品・附属品(31.2%減)、半導体製造装置(30.4%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2019/3			2019/4			2019/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	2,425	45.5	航空機部品	801	27.2	船舶	1,450	39.4
発電機	81	22.3	TV	114	20.6	機種合計	1,450	* 3.9%
TV	141	15.3	コンデンサー等部分品	866	10.0			
航空機部品	838	12.4	機種合計	1,781	* 4.2%			
機種合計	3,485	* 7.4%						

は、2ヶ月連続で上位機種

* 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品: ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器: ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2019/3			2019/4			2019/5		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	86	▲ 39.9	発電機	61	▲ 49.9	鉄道車両	80	▲ 51.1
通信機械部分品	135	▲ 29.2	通信機械部分品	138	▲ 39.5	通信機械部分品	131	▲ 39.6
原動力機械	491	▲ 29.1	原動力機械	321	▲ 33.4	産業用ロボット	132	▲ 31.7
産業用ロボット	152	▲ 28.9	産業用ロボット	148	▲ 25.8	写真機の部分品・附属品	94	▲ 31.2
デジカメ・ビデオ	240	▲ 27.1	鉄道車両	99	▲ 22.2	半導体製造装置	1,624	▲ 30.4
繊維機械	209	▲ 22.9	繊維機械	169	▲ 15.6	デジカメ・ビデオ	226	▲ 22.7
受信変換その他送受信機器	128	▲ 22.0	船舶	1,358	▲ 15.5	磁気カード・ディスク等	104	▲ 20.5
写真機の部分品・附属品	106	▲ 20.6	半導体製造装置	1,970	▲ 15.1	電子計算機	307	▲ 16.8
その他の光学機器	914	▲ 19.6	産業車両	111	▲ 14.1	風水力機械	611	▲ 15.6
工作機械	956	▲ 18.7	電池	447	▲ 13.4	繊維機械	186	▲ 14.3
機種合計	3,417	* 7.3%	機種合計	4,822	* 11.3%	機種合計	3,495	* 9.5%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～電子計算機、乗用車等が増加、電子デバイス等が減少～

- 1) 5月の機械輸入伸び率は4.1%増と3ヶ月連続で増加した。上位12機種のうち9機種が増加し、そのうち電子計算機(21.5%増)、乗用車(15.5%増)、医療機械(17.7%増)、受信変換その他送受信機器(16.9%増)、コンデンサー等部分品(17.6%増)の5機種が二桁の増加であった。減少したのは、電子デバイス(8.3%減)、自動車部品(5.8%減)、携帯電話(0.2%減)の3機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TV、通信機械部分品の10機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の37%を占める中国(8.2%増)、EU(26.6%増)、ASEAN・南アジア(3.4%減)、北米(8.5%減)、韓国・台湾(6.7%減)、その他地域(2.3%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2019/3				2019/4				2019/5			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,225	0.0	10.5	電子計算機	2,101	23.4	10.4	電子デバイス	2,120	▲ 8.3	9.5
電子計算機	2,199	2.9	10.4	電子デバイス	2,048	▲ 3.9	10.2	電子計算機	2,010	21.5	9.0
航空機・部品等	1,516	21.8	7.2	携帯電話	1,422	13.5	7.0	航空機・部品等	1,882	8.1	8.4
自動車部品	1,122	0.2	5.3	自動車部品	1,030	▲ 3.4	5.1	乗用車	1,374	15.5	6.1
乗用車	1,021	▲ 23.7	4.8	乗用車	969	▲ 3.7	4.8	自動車部品	1,156	▲ 5.8	5.2
携帯電話	916	▲ 23.0	4.3	航空機・部品等	962	1.5	4.8	携帯電話	1,054	▲ 0.2	4.7
医療機械	814	13.3	3.9	白物家電	795	11.5	3.9	白物家電	942	5.4	4.2
白物家電	751	13.0	3.6	医療機械	710	12.1	3.5	医療機械	752	17.7	3.4
配電機器	631	13.6	3.0	配電機器	583	5.8	2.9	配電機器	641	3.7	2.9
受信変換その他送受信	608	13.8	2.9	受信変換その他送受信	533	19.4	2.6	受信変換その他送受信	619	16.9	2.8
その他の配電制御装置	388	2.3	1.8	風水力機械	364	4.0	1.8	コンデンサー等部分品	455	17.6	2.0
コンデンサー等部分品	388	13.0	1.8	コンデンサー等部分品	364	11.3	1.8	その他の配電制御装置	421	0.0	1.9
12機種合計	12,579		59.5	12機種合計	11,881		58.9	12機種合計	13,426		60.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等